



常陸太田市

議会だより

NO.157

令和元年 8月26日号

常陸太田市議会



主な内容

- 議案賛否一覧 2~3
- 一般質問 4~7
- 常任委員会審査 8~9
- 議会報告・意見交換会 9~10
- 表紙によせて 12

表紙のテーマ

「夏の思い出」

撮影：太田一高写真部

常陸太田市議会 検索



議会フェイスブック

第2回定例会



大久保 太一 市長

提案理由説明（要旨）

第2回定例会（6月3日～14日）の提出議案は、専決処分の報告5件、平成30年度繰越明許費繰越計算書の報告2件、条例の制定1件、条例の一部改正3件、小型動力ポンプ積載車購入契約1件、令和元年度補正予算2件、合わせて14件であります。

専決処分については、特別交付税の確定や市債の変更等に係る予算措置、平成30年度一般会計補正予算の専決処分。また、幸久幼稚

園の通園バス利用者の増に伴う通園タクシーの予算措置に伴う平成31年度一般会計補正予算の専決処分。更に、「地方税法」等の改正に伴う市税条例や都市計画税条例、国民健康保険税条例の一部改正を専決処分としたものです。

なお、会期中に人事案件1件を追加提案する予定です。

第2回定例会 議案賛否一覧

△全員賛成で可決した議案▽

報告第8号	報告第7号	報告第6号	報告第5号	報告第3号	報告第2号	議案名	付託委員会	議決結果
平成30年度常陸太田市下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	平成30年度常陸太田市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	専決処分の承認を求めることについて（平成31年度常陸太田市一般会計補正予算（第1号））	専決処分の承認を求めることについて（平成30年度常陸太田市一般会計補正予算（第9号））	専決処分の承認を求めることについて（常陸太田市都市計画税条例の一部を改正する条例）	専決処分の承認を求めることについて（常陸太田市市税条例等の一部を改正する条例）	議案第55号 常陸太田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	本会議	原案承認
議案第61号 議員派遣について	議案第60号 令和元年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	議案第59号 令和元年度常陸太田市一般会計補正予算（第2号）について	議案第58号 小型動力ポンプ積載車購入契約について	議案第57号 常陸太田市火災予防条例の一部改正について	議案第56号 常陸太田市介護保険条例の一部改正について	議案第55号 常陸太田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	本会議	原案可決
議案第61号 常陸太田市及び一部事務組合公平委員会委員の選任について	議案第60号 令和元年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	議案第59号 令和元年度常陸太田市一般会計補正予算（第2号）について	議案第58号 小型動力ポンプ積載車購入契約について	議案第57号 常陸太田市火災予防条例の一部改正について	議案第56号 常陸太田市介護保険条例の一部改正について	議案第55号 常陸太田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	本会議	原案可決
議案第61号 常陸太田市及び一部事務組合公平委員会委員の選任について	議案第60号 令和元年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	議案第59号 令和元年度常陸太田市一般会計補正予算（第2号）について	議案第58号 小型動力ポンプ積載車購入契約について	議案第57号 常陸太田市火災予防条例の一部改正について	議案第56号 常陸太田市介護保険条例の一部改正について	議案第55号 常陸太田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	本会議	原案可決
議案第61号 常陸太田市及び一部事務組合公平委員会委員の選任について	議案第60号 令和元年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	議案第59号 令和元年度常陸太田市一般会計補正予算（第2号）について	議案第58号 小型動力ポンプ積載車購入契約について	議案第57号 常陸太田市火災予防条例の一部改正について	議案第56号 常陸太田市介護保険条例の一部改正について	議案第55号 常陸太田市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	本会議	原案可決

議案質疑

議案質疑とは、本会議での議案の説明だけではわからない疑問点を質問することです。

報告第4号 専決処分の承認を求めることについて（常陸太田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）
（地方税法施行令等の改正に伴い改正をするもの）

問1 国民健康保険税の基礎課税の増額に伴う世帯数と影響額について伺いたい。

答1 保健福祉部長 国民健康保険税の基礎課税額の改正により限度額が58万円から61万円に引き上げとなる、該当する世帯数は、62世帯である。また、保険税軽減額の拡充により減額世帯数が、5割軽減世帯は1252世帯から1272世帯へ。2割軽減世帯は1020世帯から1042世帯で合計42世帯が新たに減額世帯に該当する。これにより、国民健康保険税に係る影響額は、限度額引き上げにより192万2千円の増額となるが、減額の拡充分により91万4千円が減額となることから、差し引くと100万8千円の増額となる。

議案第54号 常陸太田市森林環境譲与税基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について（森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が平成31年4月1日から施行されたことに伴い常陸太田市森林環境譲与税基金条例を制定するもの）

問2 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の制定についての考え方について伺いたい。

答2 農政部長 森林には、土砂災害等防止する国土保全機能や水源涵養機能、生態系を守る保全機能や地球温暖化防止機能など役割を担っている。市としても、森林環境譲与税を有効に活用し、市民へのご理解をいただきながら森林の持つ公益的機能の維持、増進に向けて積極的に取り組んでいく。

次のページに、令和元年第2回市議会定例会の一般質問を掲載しました。

※掲載内容は一般質問の一部を要約したものです。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

△賛否の分かれた議案▽

議案名	報告第4号 専決処分の承認を求めることについて（常陸太田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	議案第54号 常陸太田市森林環境譲与税基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について	平成31年 請願第1号 後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する請願	文教民生	産業建設	本会議	付託 委員会	審査結果	議員名
○…賛成 ×…反対 欠…欠席				×	×	×	宇野 隆子		
※議長の表決権…過半数議決の場合、議長には表決権がありません。ただし、賛成・反対が同数の場合、可決か否決か決定することができず採決権が認められています。（注1）平成31年請願第1号は、委員会において「不採択とすべきもの」と決定し、本会議において委員会の審査のとおり「不採択とすべきもの」と決定すること」について採決されたため、請願に賛成する議員の賛否は×と表記されます。				○	○	欠	高木 将		
				○	○	○	黒沢 義久		
				○	○	○	後藤 守		
				○	○	○	川又 照雄		
				○	○	○	茅根 猛		
				○	○	○	高星 勝幸		
				○	○	○	深谷 秀峰		
				○	○	○	菊池 伸也		
				○	○	○	益子 慎哉		
				○	○	○	平山 晶邦		
				○	○	○	深谷 涉		
				○	○	○	藤田 謙二		
				○	○	○	諏訪 一則		
				○	○	○	菊池 勝美		
				○	○	○	小室 信隆		
				○	○	○	森山 一政		
				不採択	原案可決	原案承認		議決結果	



藤田 謙二
議員

問1 市内の県立高校の魅力アップに向けた連携促進を
問2 道の駅を基点に各エリアに誘客する戦略推進を

問1 県立高校再編により今春から市内に3校あった高校が2校へと減少となったが、両校とも今年の入学生が定員割れとなる予想外の事態に陥ってしまった。学校と地域と行政が連携して支援体制を構築することが必要と考えるが、ご所見を伺いたい。

答1 教育長 この春開校した太田西山高校は、行政や地元代表者などで構成された新校設置推進協議会で、地域に根差した高

校はどうあるべきかなどを協議し、2年生からは特進コース、教養コースに加え、地域観光ビジネスなどを学ぶ商業コースや保育、介護について学ぶ福祉保育コースを設置し、生徒たちがこの学校で真に学びたいと思えるような魅力ある学校としてスタートした。

また、それぞれの高校には、市内の中学校長が学校評議員として関わるなど協議の場があり、そのような機会に中学校の願いなどを

伝えるとともに高校の在り方について意見を述べている。市教育委員会としても市内中学生の希望やニーズ等を十分に把握したうえで、高校での授業や特色ある教育活動の展開をはじめ、魅力ある学校経営について県や高校に意見を申し上げていきたいと考えている。

問2 県内一広い面積のもと、市内には一日では到底回り切れない魅力が点在する中、フィルムコミッションで提案したロケ地

巡りの推奨コースのように、エリアごとのモデルコースを設定し、道の駅を基点に何回も訪れてもらえるような仕掛けが必要であると考えているが、ご所見を伺いたい。

答2 商工観光部長 今後、観光戦略を展開していくうえで、地域色を生かしたゾーン戦略は、地区の受け皿としての体制整備を図る際に、実行サイドとして有効な手段であることから参考とさせていただきます。



川又 照雄
議員

問1 道の駅ひたちおおたの今後の展開は
問2 子どもたちに求められる「生きる力」とは

問1 道の駅ひたちおおたの運営状況、基本コンセプトの検証と今後の展開について伺いたい。

答1 農政部長 オープン以来、入込客数や売上、雇用とも順調に推移している。国の示す道の駅の基本コンセプトである休憩機能、情報発信機能、地域連携機能、防災機能とも大きな課題等はないが、今後も、より利便性の高

い道の駅を目指し、農林畜産業の振興と交流人口の拡大による、地域経済の好循環につなげていく。

問2 今の子どもたちに求められる「生きる力」とその体験活動の充実をどのように図っていくのか伺いたい。

答2 教育長 これからの社会は、グローバル化の進展や人工知能の飛躍的な進化など加速

度的に進化し、今後、どのような社会になっていくのか予測するのが難しくなっていくことが考えられる。そのような中、児童生徒一人ひとりが、社会の変化に受け身で対応するのではなく、主体的に向き合っていくことが必要で、自ら可能性を發揮し、他者と協働しながらより良い社会を切り拓き、未来の創り手となるために必要な力として、「確かな学力 豊かな心 健やかな体」の三つの力を備えた

「生きる力」を育んでいくことが重視されている。子どもたちの「生きる力」を確かなものとし、成長にとって欠かせないものである体験活動は重要な役割を担っている。これからも学校教育と社会教育が連携し、地域の文化や自然という地域の宝を活用しながら、体験活動の充実を図り、子どもたちの「生きる力」の育成に努めていく。

【川又 照雄 議員 質問事項】

- 産業振興について
- 安全安心なまちづくりについて
- 郷土を愛し未来を拓くひとづくりについて

【藤田 謙二 議員 質問事項】

- 教育環境の向上について
- 観光振興について



平山 晶邦
議員

問1 全国的に水道事業は、人口減少による収入減と老朽化した浄水場や水道管などの施設の更新費用の工面が問題となつている。水道は、市民の命に関わる生活インフラであり本市において水道事業最上位に位置づける事業であり、将来に渡つても持続可能な体制を作つていく必要性がある。そこで、水道施設の概要と年数40年を超えている浄水場・水道管などの施設の現状と今後施設整備は

どのように考えるのか伺いたい。

答1 上下水道部長 上水道事業の給水地域は、常陸太田地区と金砂郷地区になつている。

水道施設の概要は、浄水場施設が5か所、その他取水施設・送水施設・増圧施設・減圧施設・配水池合わせて65施設である。水道管の総延長は約540キロでこれらの施設のうち40年を超えた浄水場は瑞竜浄水場が48年、大野浄水

場が51年の2か所、40年を超えた水道管については約45キロである。また、簡易水道事業の給水区域は、水府・里美地区で浄水場施設が6か所その他の施設を合わせ

て54か所であり、水道管の総延長は約190キロである。これらは施設のうち40年を超えた浄水場が5か所、水道管は約24キロである。これまでの施設の整備については、平成21年度に制定した10年間の「水道ビジョン」に基づき内

田浄水場や佐竹配水池の整備など計画的に取り組んでいる。今後の整備についても将来の水道のあるべき姿、効率的で維持可能な事業を見据えて令和3年から10年間計画の「水道ビジョン」を策定する

と共に、総務省から令和2年までの策定を求められている「水道事業経営戦略」を策定し、中長期的な視点に立った計画的経営基盤の強化と財政マネジメントに取り組んでいく。

問1 40年を超えている浄水場・水道管などの施設の現状は



菊池 伸也
議員

問1 竜神大吊橋では現在、バンジージャンプが実施されているが、竜神峡周辺の更なる魅力アップのため、大自然の中を空中散歩し、爽快感が味わえる「ジツプライン」の設置を検討してはどうかと思うが見解を伺いたい。

答1 商工観光部長 現在、奥久慈グリーンライン林道が、令和5年の完成を目的に整備が進められていることから、竜神ふるさと村へのアクセス道路の整備を

問1 竜神大吊橋の新たな魅力度アップに向けて
問2 観光振興に必要な道路整備の進捗状況は

優先して取り組みたいと考えている。また、「ジツプライン」については、今後、竜神峡エリアの各施設の活性化を図り、誘客拡大及び回遊性の向上が図られるよう、総合的な検討をしていきたい。

※ジツプラインとは、木々の間に張られたワイヤーロープを滑車を使つて滑り降りるアウトドア・レジャーのことです。

問2 竜神峡周辺までのアクセス道路の整備状況と今後の見

通しについて伺いたい。

答2 建設部長 観光振興を支援する茨城県道路事業として、県道常陸太田太子線について

は、下高倉町、天下野町間の竜神橋、竜神大吊橋入口交差点、更には、天下野町地内の桜沢橋の3か所をボトルネック箇所として拡幅事業を進めている。竜神大吊橋入口交差点は、昨年度に暫定で北方向からの右折レーンを設置。今年度は、南方向からの左折専

用レーンを増設するため測量、調査を行い一部設計に着手する予定である。桜沢橋については、来年度に竜神橋の事業が完了した後に、事業着手予定である。また、県道日立山方線については、染川に近接する局部改良工事が今年度で完了するため、中染町などの幅員狭小箇所については地元町会と意見調整を行ったうえで事業継続の要望を考えている。

【菊池 伸也 議員 質問事項】

- 観光振興について
- スポーツ振興策について

【平山 晶邦 議員 質問事項】

- 上水道事業について
- 教育行政について



宇野 隆子
議員

問1

落ち度のない歩行者が歩道や交差点で自動車にはなれ死傷する悲惨で理不尽な事故が後を絶たない。地域の変化や現場の実情に即して、ガードレールや信号の増設などの対策が急務となっている。2012年、国は全国の通学路の危険箇所を緊急点検し、一定の改善を図る取り組みを実施し、本市でも改善が図られた。5年以上たった今、改めて通学路の点検と対策が不可欠となっている。歩行者の安全確保の現況

問2

問1 歩行者の安全確保対策は急務
問2 補聴器購入の補助制度創設を求める

と対策、通学路の安全点検と対策について伺いたい。

答1

建設部長 通学路や野外活
動時のルートとなっている
横断歩道がある、見通しの良い幹
線道路の交差点に対し、今までの
視点に加え、一般の事故を考慮
し、ガードレールなどの交通安全
施設の設置状況の現状把握をまず
行っていく。

答1

教育部長 市通学路安全対
策連絡協議会を軸とした体
制を維持しながら、学校、保護者、

地域安全ボランティア、関係機関
等が、昨今の事故等に応じた改善
策を図っていききたい。

問2

70歳以上の半数に難聴があ
ると言われている。日常生
活を不便にし、生活の質を落とす
だけでなく、うつや認知症の原因
にもなることが指摘されている。

しかし、補聴器は平均価格が15
万円と高額で、「高くて買えない」
との声があがっている。①加齢に
よる難聴者の補聴器の使用状況等

答2

保健福祉部長

①加齢によ
る難聴者の使用状況は把握
できないので、「高齢者福祉計画」
の策定に併せアンケート調査に項
目を盛り込むなど、状況の把握に
努める。②国や県、他市町村の動向
などを収集し判断していく。③市
独自補助制度は研究課題としたい。



深谷 渉
議員

問1

地域外の人が特定の地域
や、その地域の人達と継続
的に多様に関わる人を「関係人
口」として意識し、その「関係人
口」拡大のための施策を展開する
ことが、地域の活性化につながる
と考えるが、ご所見と展開を伺
いたい。

問2

問1 「関係人口」という新たな視点での施策の展開を
問2 ごみのリサイクル率とごみ出し困難者支援について

答1

企画部長 これまで本市で
は「関係人口」という考え
方を特に意識し、施策を展開して
きた訳ではないが、少子化・人口

減少対策や交流人口の拡大、地域
活性化などを図るために実施して
きた各種施策は、結果として「関
係人口」の創出・拡大に資するも
のであると、改めて認識してい
る。「関係人口」を創出・拡大し
ていくことは、移住・定住人口の
増加にも繋がることを期待される
ことから、本年度に策定をする「第
2期常陸太田市まち・ひと・しご
こ創生総合戦略」の中で、「関係
人口」の拡大に、より効果的な施

問2

リサイクル率向上を目指
し、ごみの23分別を導入し
てきたが、本市のリサイクル率は
県内の中でも平均をかなり下回っ
ているが、原因と対策について伺
いたい。また、高齢者等のごみ出
し困難者支援策が曖昧であるため
効果が見られない。今後の考え方

答2

市民生活部長

リサイクル
率の数値の把握が不十分で
あったのが主な原因であり、数値
の把握に努めるとともに、生ごみ
の堆肥化等を推進していく。
また、ごみ出し困難者支援は、
町内の各班主任で正確な実態の把
握ができていない。より実効性の
ある施策とするため、地域コミュ
ニティとの連携をより深め、制度
の趣旨・目的を周知徹底していく。

【深谷 渉 議員 質問事項】

- 地域の活性化について
- 通学路等の安全確保について
- 循環型社会の形成とごみ回収促進について
- 防災・減災について

【宇野 隆子 議員 質問事項】

- 東海第二原発の再稼働問題について
- 小中学校体育館へのエアコン設置について
- 補聴器購入の補助制度の創設について
- 中学校の不適切な指導について
- 歩行者の安全確保について

議会トピックス

太田二高生が市議会を傍聴しました

6月5日、第2回定例会本会議（一般質問）の様子を太田二高2年生84名が傍聴しました。生徒の皆さんからは「議会は難しいイメージがあったが、高校の再編や観光施設などの質問があり議会が身近に感じられた」「機会があればまた傍聴したい」などの声が聞かれました。



審議の過程をメモに取る生徒

誉田小・郡戸小が議場を見学

市役所見学のため6月21日は誉田小、6月24日は郡戸小の皆さんが市議会を訪れました。議長席や議員席の座り心地を確かめたり、マイクを使って質疑を体験したりしていました。



誉田小の皆さん



郡戸小の皆さん



諏訪 一則
議員

問1 市民の意見を市政に反映する方法は

問1

パブリック・コメントは、市が施策の策定を行う際に、市民の皆様のご意見や情報をご考慮して策定できるとともに、市の考え方も市民に伝えられる制度と考えるが、現在どのくらいの意見聴取がされているのか。また、パブリック・コメント以外の方法による市民からの意見聴取方法について伺いたい。

答1

政策推進室理事 パブリック・コメントは、市の基本的な施策等の意思決定過程において公正性の確保及び透明性の向上を図るとともに、市民の積極的な市政への参画を促進し、市民と行政との協働による開かれた市政を推進することを目的としている。パブリック・コメントの手続きについては、市の重要な計画等の策定や改定・基本的な条例等の制定や改正に際し、事前にその案を

公表し、広く市民からの意見を求め、寄せられた意見及び情報を考慮して最終的な意思決定を行うとともに、意見等の概要、意見等に対する市の考え方を公表している。平成30年度の実績については、6件のパブリック・コメントを実施し、3件の事案に10件の意見が提出され、意見に対する市の考え方を示したうえで公表している。また、パブリック・コメント以外

外の市民からの意見聴取方法については、平成30年度実施した5件のパブリック・コメントについて、それぞれ審議会や策定委員会等を設置し、市民や有識者、関係団体の代表者や町会長などに協力をいただき実施した。今後もパブリック・コメントは、大変重要な制度であり、引き続き周知を図りながら、市民の意見を市政に反映していく。

【諏訪 一則 議員 質問事項】

- パブリック・コメントについて
- 安心安全なまちづくりについて

総務委員会

総務委員会では、条例の一部改正2件、小型動力ポンプ積載車購入契約1件、補正予算1件合計4件の審査を行い、付託された4議案を全会一致により原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第58号 小型動力ポンプ積載車購入契約について

〔一般競争入札により小型動力ポンプ積載車の購入契約を締結するもの〕

問 県内で小型動力ポンプ積載車を扱っている会社は何社あるのか。また、今回契約した業者名と導入する車のメーカー名について伺いたい。

答 本市で登録している県内の業者は21社あり、そのうちの3社で一般競争入札を行った。落札した業者名は、北関東防災工業株式会社（日立市）で車のメーカーはトーハツ株式会社である。



議案第59号 令和元年度常陸太田市一般会計補正予算（第2号）について

（歳入歳出予算の総額を2億2677万3千円を追加し合計を253億8961万8千円とするもの）

問 県と当市の合同で行われる「わくわく茨城生活実現事業」の概要と市内の参加予定企業数について伺いたい。

答 この事業は、東京23区に在住もしくは勤務している方が、茨城県内に移住し移住支援金の対象となる企業（マッチングサイトに掲載している企業）に就職した場合、一世帯100万円・単身60万円の移住支援金が支給されるものである。周知方法については、ホームページ等のほか、今後、都内で開催される移住相談会でPRをしていきたい。

また、市内の参加企業は、8社であるが、今後、参加企業を募り、最終的には15社程度を予定している。



【委員会構成】

委員長 菊池 伸也 委員 茅根 猛
副委員長 深谷 涉 〃 高星 勝幸
委員 後藤 守 〃 平山 晶邦

文教民生委員会

文教民生委員会では、条例の一部改正1件、補正予算1件、請願1件合計3件の審査を行い、付託された2議案を全会一致で原案可決すべきものと決定。請願1件を不採択すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第56号 常陸太田市介護保険条例の一部改正について

（低所得者への保険料軽減を図るため一部を改正するもの）

問 今回の改正の対象被保険者数について伺いたい。

答 今回の改正では所得段階が1から3段階の被保険者（住民税非課税世帯）の保険料が引き下げられ、対象者は第1段階が2871名、第2段階が1469名、第3段階が1203名で合計5543名である。

問 今回改正の保険料について伺いたい。

答 第1段階は3万1800円から2万3800円、第2段階は4万7600円から3万9700円、第3段階は4万7600円から4万6000円に、それぞれ引き下げられる。

平成31年請願第1号 後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する請願

（保険料は上がり続け、高齢者の生活苦は限界を超えている状況から、75歳以上の後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げをしないよう政府関係機関に意見書をもって要望するもの）

意見 老後の不安を抱え、年金だけでは暮らしていけないと働き続ける高齢者が増えている状況の中で、医療費が1割から2割へ引き上げられるということは、高齢者にとって大きな負担となってしまうため、採択すべきである。

意見 高齢化社会が進行し、現役世代が減少していく中、高齢者医療費は今後増加していく一方で、現役世代への過重な医療費の負担が予想される。負担の公平性の観点からも、高齢者もある程度の負担はやむを得ない状況であり、不採択すべきである。



【委員会構成】

委員長 長川又 照雄 委員 高木 将
副委員長 諏訪 一則 〃 深谷 秀峰
委員 宇野 隆子 〃 小室 信隆

産業建設委員会

産業建設委員会では、条例の制定1件の審査を行い、全会一致で原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第54号 常陸太田市森林環境譲与税基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定について

（森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律が平成31年4月1日から施行されたことに伴い常陸太田市森林環境譲与税基金条例を制定するもの）

問 基金積立の理由を伺いたい。

答 森林環境譲与税は、毎年9月と3月に国から配分されることになり、当該年度の残金を積み立て、後年度に多額の費用を要する事業を実施するなどの、弾力的な事業実施を図るため、基金条例を制定するものである。



問 この基金を利用した森林整備は市有林、民有林関係なく行われるものなのか。

答 民有林の人工林で、森林経営管理が行われていない森林を所有者の意向調査を行い整備していくことになる。

問 条例案中に、運用収益の処理とあるがこの点について説明を願いたい。

答 この基金については、森林整備を目的に積み立てるものであり、当面、普通預金の利子を見込んでいる。



【委員会構成】

委員長	藤田 謙二
副委員長	菊池 勝美
委員	黒沢 義久
	森山 一政
	成井 小太郎
	益子 慎哉

議会報告・意見交換会を開催しました

市議会では、6月27日（木）、28日（金）、7月2日（火）、3日（水）に、市内4地区において、市民を対象とした議会報告・意見交換会を開催し、各地区合計で、149人の参加をいただきました。

議会報告では、昨年度に各常任委員会が調査研究を行ってきた活動内容の報告や意見交換会では、「商業と観光の振興について」をテーマに、2班に分かれて意見交換会を行い貴重なご意見等お聞きすることができました。

今後も、より多くの皆様にご参加いただけるよう、開催内容等について検討してまいります。



水府地区



金砂郷地区



常陸太田地区



里美地区

次のページでは、市内4地区での意見交換をした主な意見を紹介します。



◇◇各会場からいただいたご意見◇◇

「商業と観光の振興」をテーマに、2班に分かれて意見交換をしたところ皆さんから多くの意見が出されましたので、主な意見を紹介します。

水 府 地 区

- ・ 竜神大吊橋の滞在時間が短いため、二度・三度行きたくなるような仕掛けづくりが必要である。
- ・ 農家民泊で当市に訪れる子どもたちなどは交流人口拡大に寄与しているが、受入側の高齢化などでなかなか厳しい状態である。
- ・ 都会から来た人は星がきれいと言われる。もっと地域の良さをアピールするためにも竜神大吊橋周辺を民間の力を活用して総合的に開発すべきである。



金 砂 郷 地 区



- ・ J T跡地は史跡的にも価値があるため、100年、200年先を考えて歴史遺産とした歴史施策を進めてほしい。
- ・ 小売店が減少し、高齢者や運転をしない方などは、商業地域まで買い物に行くことが不便であるため、移動販売にも支援が必要ではないか。
- ・ 東部土地区画整理事業の商業振興は、今の状況ではピンと来ていない。我々が住んでいるより身近な商業振興を進めてほしい。

常 陸 太 田 地 区

- ・ 瑞龍山の震災による修復が終了し一般公開しているが、制約が多い。広く一般に開放し歴史遺産を活用できないのか。
- ・ 東部土地区画整理事業は若い世代のためにも必要であり、働く場の確保にもつながるので事業を進めてほしい。
- ・ 他市の観光協会ホームページの情報は、内容が充実している。当市のホームページも魅力アップにつながるように作成してほしい。



里 美 地 区



- ・ 里美牧場（プラトー里美）は地域の財産である。桜や市の花である「やまぶき」などを植えてお客さんをお呼びすべきである。
- ・ むく森の湯はリニューアルして施設は良くなったが、ソフト面のサービスについても強化を図ってほしい。
- ・ 星空観察会や塩の道ハイキングコース等、四季折々の自然豊かさをPRすれば、工夫次第でお客さんをお呼びのではないかと。

意見交換会に参加された皆様、貴重なご意見ありがとうございました。



議会運営委員会

4/19、5/21、6/3・12・14

第2回定例会の会期・日程等について

4月19日、第2回定例会の会期について審議し、「ひたちおたおお知らせ版」及び市内施設・各支所窓口へ掲示することとした。5月21日には第1日の日程、議案等付託委員会、一般質問・議案質疑の通告期限及び一般質問の方法・時間制限について。6月3日には一般質問通告者について。12日には追加議案、最終日の日程、人事案件について。14日には議員派遣について審議を行った。



議会日誌

4月11日	総務委員会協議会・広報委員会
4月19日	議会運営委員会・全員協議会・産業建設委員会協議会・文教民生委員会協議会
5月15日	山口県岩国市議会総務常任委員会視察来庁
5月17日	総務委員会協議会
5月21日	議会運営委員会・全員協議会・総務委員会協議会・文教民生委員会協議会・産業建設委員会協議会
5月24日	県北市議会議長会定例会
5月27日	茨城県市議会議長会定例会
5月28日	市町村長・市町村議会議長会議
5月29日	関東市議会議長会第85回定期総会
6月3日	本会議（開会・議案説明）議会運営委員会
6月5日	本会議（一般質問）
6月6日	本会議（一般質問）
6月7日	本会議（議案質疑）・文教民生委員会協議会・産業建設委員会協議会
6月10日	総務委員会・総務委員会協議会
6月11日	文教民生委員会・文教民生委員会協議会・全国市議会議長会第95回定期総会
6月12日	産業建設委員会・議会運営委員会・全員協議会・広報委員会
6月14日	議会運営委員会・本会議（採決・閉会）
6月19日	議会改革推進会議
6月27日	議会報告・意見交換会（水府地区）
6月28日	議会報告・意見交換会（金砂郷地区）

請願・陳情

件名	提出者	結果
平成31年 請願第1号 後期高齢者の医療費自己負担2割への引き上げに反対する請願	茨城県社会保障推進協議会 代表委員 瀧澤 利行 茨城県高齢期運動連絡会 会長 近沢 重男 【紹介議員】宇野 隆子	不採択
陳情第3号 消費税増税10%引き上げ中止を求める意見書提出の陳情書	茨城県商工団体連合会 会長 松澤 博	報告
陳情第4号 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情	「新しい提案」実行委員会 安里 長従 外6名	報告
陳情第5号 「医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書」を国に提出することを求める陳情	茨城県医療労働組合連合会 執行委員長 松崎 みどり	報告
陳情第6号 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決すべきとする意見書の採択を求める陳情	全国青年司法書士協議会 会長 半田 久之	報告

全国市議会議長会並びに茨城県市議会議長会から表彰状

全国市議会議長会定期総会並びに茨城県市議会議長会定例会において、議員在職15年以上として成井小太郎議員、益子慎哉議員に。また、茨城県市議会議長会定例会において、議員在職8年以上として藤田謙二議員に、それぞれ多年の地方自治進展と市政向上に貢献されたことにより表彰状が贈られました。



成井 小太郎 議員



益子 慎哉 議員



藤田 謙二 議員



表紙によせて

私たち太田一高写真部は、5月にコザワ時計店(西二町)で春季写真展を開催したところ、多くの皆様に来場いただき誠にありがとうございました。また、たくさんの方々から好評をいただき、とても励みになりました。6月には、部員一同で水戸駿優会館(水戸市)で行われたフォトセミナーに参加し、プロの写真家から写真の撮り方など指導いただきました。今後もいろいろな場面で日々向上をめざしていきたいと思ひます。



写真部部長 柳橋 菜美



議会を傍聴しませんか

傍聴される方は、市役所4階市議会議場前の傍聴受付で所定の用紙に住所、氏名、年齢を記入し、傍聴券をお受け取りください。傍聴する際には注意事項をお守りください。

9月定例会会期日程(予定)

9月	2日(月)	午前10時	開会・議案説明
	4日(水)	午前10時	一般質問
	5日(木)	午前10時	一般質問
	6日(金)	午前10時	議案質疑
	9日(月)	午前10時	総務委員会
	10日(火)	午前10時	文教民生委員会
	11日(水)	午前10時	産業建設委員会
	12日(木)	午前10時	決算特別委員会
	13日(金)	午前10時	決算特別委員会
	18日(水)	午前10時	採決・閉会

編集後記

議会だより第157号では第2回定例会並びに議会報告・意見交換会の主な内容を掲載いたしました。さて、いよいよ『いきいき茨城ゆめ国体2019』が開催されます。今から45年前(1974年)に行われた茨城国体では、当市では、太田中体育館でボクシング競技を。また、旧里美村等では山岳競技が行われました。今回、当市では、白羽スポーツ広場や山吹運動公園を舞台にソフトボール(成年男子・成年女子)が開催され、また、来年の東京オリンピックではソフトボール競技の復活によりオリンピック出場選手が各県代表に分かれて熱戦を繰り広げます。また、国体終了後には『いきいき茨城ゆめ大会』(全国障害者スポーツ大会)が開催されますので、ぜひ、ご来場ください。

広報委員会

- 委員長 高星 勝幸
- 副委員長 藤田 謙二
- 委員 川又 照雄
- 菊池 伸也
- 深谷 一則
- 諏訪 勝美